



平成 26 年度三校合同研修会 ～「ライフスキル教育ワークショップ in 伊平屋」



【八月十四日開会式】
平成二十六年八月十四日(木)の午後、伊平屋村離島振興総合センター(合計十六時間)にわたって、伊平屋村三校合同研修会「ライフスキル教育ワークショップ in 伊平屋」が開催されました。今年五月十七日に新職員セミナーを開催しましたが、今回も篠田講師と外間氏をお招きして開催しています。また、開会式には、浦添区委員長の屋比久里美様も駆けつけました。心から感謝申し上げます。平成二十六年の伊平屋村の夏は、小学六年、中学三年までの(約七十名)児童生徒は「東大塾」で徹底的に勉強をし、職員は「ライフスキル研修」に没頭しました。塾が無く、本島の研修の機会も少ない「伊平屋島」だからこそ、ぎりぎりまで悩みもがきながら、「脳力」を高めて「気づく」体験をすることこそ意味があると考えます。

東大塾とライフスキルに共通しているキーワードは「気づき」と「主体性」です。本村教育委員会施策の中でも最重要と位置づけ特徴ある取り組みです。今回の八月十四日、十五日のライフスキル教育 WS は、全教職員三十七名が参加しました。初日は、「高め合い伸ばし合う学級作り」と題し、セミナーを実施しました。また、ライフスキルは「学力」を支える「前向きさ」をより強くするものであること、そため「安全で安心できる学習集団作り」をこの二日間で徹底して学んでいきました。



責 伊平屋村
文 伊平屋村
教育委員会
大 城 美 千 代



「高め合い伸ばし合う学級作り！」
セミナー及び WS、模擬授業を通して
講師 ライオンズクエストトレーナー
篠田 康人氏

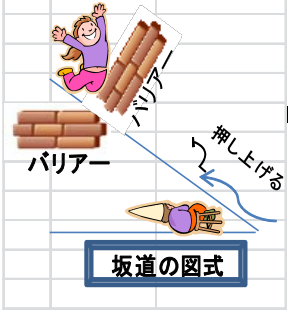
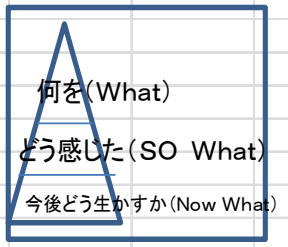
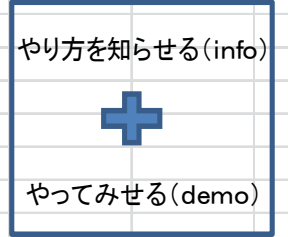
○八月十四日(木)

【惹きつける】

職員は「安心で安全な学習集団」を形成し、「前向き」な態度で研修に臨んでいく姿勢が印象的でした。「あなたなら、何をどの質やパラフレイズでやりますか？」といった具体的な問いかけをしながら先生方に聞いていくのです。

【坂道の図式】
上の子も認め(落ちないよう)に、下位の子は押し上げてあげる。

【スキル学習の仕組み】
① やり方を知らせる (info)
② やってみせる (demo)
③ やらせてみる (demo)
④ やらせてみる (demo)
⑤ やらせてみる (demo)
⑥ やらせてみる (demo)
⑦ やらせてみる (demo)
⑧ やらせてみる (demo)



【ブレインストーミングとポスター作りの流れ】

- ① ブレインストーミングとポスター作りの流れ
- ② 道案内、役割分担 (赤、青、黒、紫、茶)
- ③ 短冊と白紙の配布と使用方のデモンストレーション
- ④ お題を出す (司会が指名して挙手させて発表の流れ)
 - (一) 「中学一年生といえれば？」 ↓ 自分で短冊に書く
 - (二) 「中学一年生に見られる問題行動とは？」 ↓ 発表し記録する
 - (三) 「大人ができる支援策とは？」 ↓ 挙手、発表、記録
- ⑤ 模造紙 (ポスター) のモデルを示す。留意点の説明
- ⑥ グループで話し合っってポスター作り
- ⑦ 「生かそう! (so what)」
- ⑧ ポスター作りで行ったことを漢字で表す活動

等々、先生方の中に様々なイメージが膨らんでいきます。
⑧でイメージした漢字一文字に「〇〇感」という三文字で表す活動
この活動は、「保護者や地域の方を交えての懇談会等でも活用できそ
うだ」という手応えを感じた様子でした。

【先生方による模擬授業】

八月十五日
【ライフスキルは全ての教科等で使える】
エナジヤイザーは場を和ませたり、雰囲気作
り等で全教科で活用しています。
また、平成二十五年度より伊平屋村の各学
校では特別活動の年間計画に「ライフスキル」
を位置づけ活動しています。そのため、日常の授
業や三校合同研究授業の中でも実践しています。
本年度も四月には伊平屋中でも実施、また十月に
は伊平屋小で計画されています。
今後は道徳で活用することが考えられます。
道徳とライフスキルとの関係は、上の図のよ
うになります。小学校のテキストが昨年の夏に
できあがったことと小学校では大幅に先生方が
入れ替わったため、次年度より具体的に教育計
画の中に位置づけ、新しい計画が進められています！

次にこの内容から、先生方が授業に活用する様子をご紹介します。
⑤ 小学一年（意思決定）
④ 小学二年（意思決定）
③ 小学三年（意思決定）
② 小学四年（感情コントロール）
① 小学一年（意思決定）
① 小学二年（意思決定）
② 小学三年（意思決定）
③ 小学四年（感情コントロール）
④ 小学一年（意思決定）
⑤ 小学二年（意思決定）

【先生方による模擬授業】
小学校版の模擬授業を三本、
中学校版の模擬授業を二本、
実践しました。
先生方は、授業に活用する様子をご紹介します。
⑤ 小学一年（意思決定）
④ 小学二年（意思決定）
③ 小学三年（意思決定）
② 小学四年（感情コントロール）
① 小学一年（意思決定）
① 小学二年（意思決定）
② 小学三年（意思決定）
③ 小学四年（感情コントロール）
④ 小学一年（意思決定）
⑤ 小学二年（意思決定）

先生方の感想から

【伊小】
○今後、教科の年計を立てていく上で、全教師が共通理解をし、特別活動や保健の中で授業の導入時や展開の要素もライフスキル授業の楽しさを取り入れるのが楽しみです。（R. Y）
【伊中】
○今回の研修を受けて、私自身が「前向きな気持ちになること」が授業実践の鍵です！（A. U）
【野甫】
○こんなにも貴重な資料を持てたいです。（H. M）

【今後の展望】
「ライフスキル教育」は「島発ち教育」の場、環境として、学校関係者のご理解とご協力が大変重要です。地域の皆様を巻き込み、実践できるような取り組みを推進していき、子ども達の「家庭・地域・行政が連携して、ライフスキルを推進していきます。」を目標とします。

先生方は、終了証書とこのコメントを胸に、二日間の頑張りをお互いに讃え合う姿が大変印象的でした。

【修了証書の授与】
昨年年度証書を受け取った先生から、新教員に修了証書が授与されます。その良さをコメント書きします。（背中のお皿に、相手へのコメントと自分の名前を書きます。）

